

# 都市計画 マスター プラン

# ニュース レター

第3号  
1998年1月5日発行

『都市計画マスタープラン勉強会』  
が始まりました!

前号でお知らせした「都市計画マスタープラン（以下『都市マス』）」勉強会の第1回目が、去る12月9日（火）午後6時より、札幌市民会館1号会議室で開催されました。

当初、定員30名程度で募集しましたが、応募者多数（ちょうど100名）のため、45名に枠を広げて選考させていただきました。

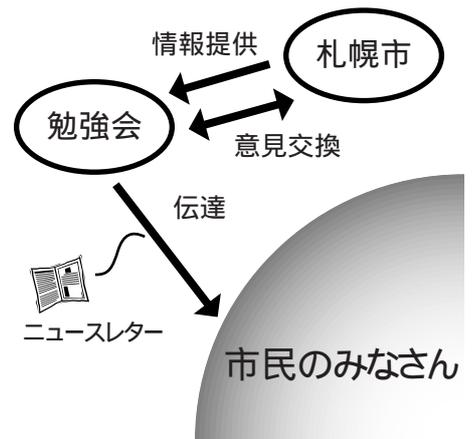
当日の勉強会には39名の市民の方々が参加しました。初回にもかかわらず、活発な意見が出され、まちづくりに対する熱意がひしひしと感じられました。

今回のニュースレターでは、当日の様子を中心に、今後の予定についてもお知らせします。

## 勉強会は3つの目的を持ってスタートしました。

この勉強会は、市からの一方的な情報提供の場ではなく、参加型・協同作業場的な勉強会にしていきたいと思っています。

- 1 札幌市長期総合計画策定の動きや都市計画の取り組みなどについて、都市マスの素案作成前から**ホットな情報提供**をしたい。
- 2 市民の方々と意見交換をしながら、都市マスの素案作成に向けた大切にすべき**論点を確認**したい。
- 3 市民の方々とのコミュニケーションを広げていききっかけとするため、**広く市民の方々に勉強会の様子を伝えていきたい。**



## 第1回目の勉強会のテーマは“顔合わせ”です。

最初に札幌市より“都市マスとは何か”“勉強会の主旨”について説明しました（**情報提供コーナー**）。

次に、グループに分かれて“自己紹介”と“グループディスカッション”を行いました（**意見交換会**）。



（写真左）  
市からの説明の様子。  
（写真右）  
グループディスカッションの様子。  
なごやかに話し合いが進みました。

### 本日のプログラム

コ  
ナ  
ー  
情報提供

- 1 開会のあいさつ
- 2 都市マスの説明
- 3 勉強会の説明



意見交換会

- 4 自己紹介
- 5 グループディスカッション
- 6 グループ発表

7 まとめと次回の日時

## 「都市マスって何？」 など、市から基本的な説明をしました。

都市マスとは都市計画に関する基本的方針です。言い換えるなら、土地利用をどういった考え方で図るか、道路・公園などをどのような考え方で配置するかといったことを定める、考え方を中心とした計画のことです。

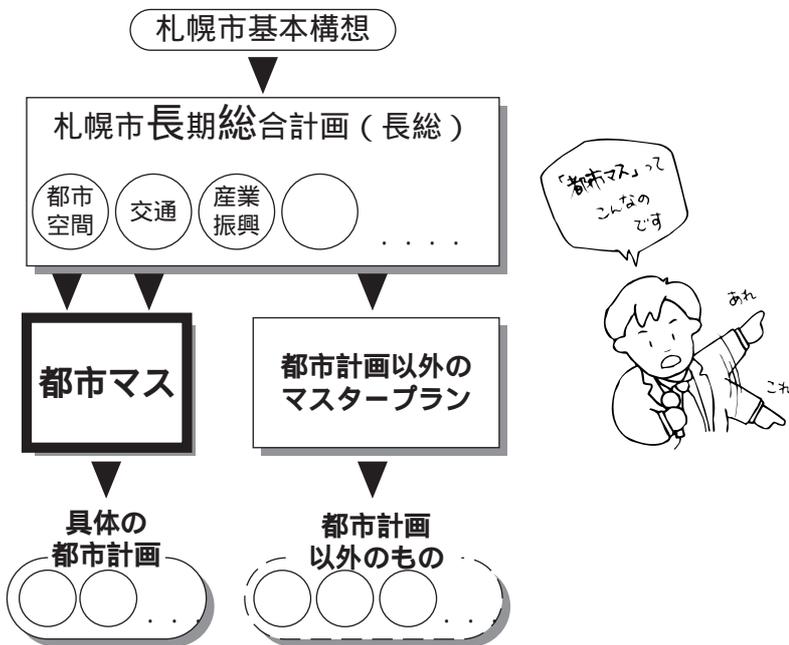
札幌市長期総合計画(長総)の策定と連動しながら、主として都市空間計画と交通計画の部門を担うマスタープランとしてつくっていきます。

都市マスは、市全体についての全体構想と、地域ごとの地域別構想から成るのが一般的です。札幌市では来年度からまず全体構想を策定していきます。

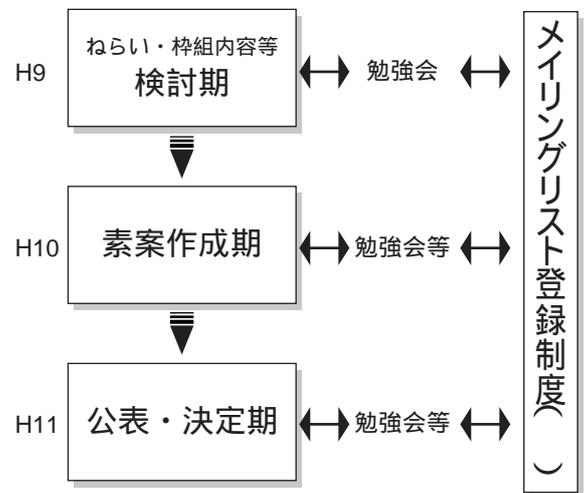
今年度は、何も決まっていない段階です。この段階から市民の方々と意見交換しながら計画をつくるのは、都市計画としては初めての試みです。

この勉強会で話し合われた内容を、ニュースレターなどを通じて、広く市民のみなさんに広く伝えていくことも重要だと考えています。

### 都市マスの位置づけ



### 全体構想策定のスケジュール



メイリングリストに登録すると、直接このレターが郵送されます。まだ登録されていない方はどうぞご登録ください。詳細はこのレターの最後にある「ご意見募集」先まで。

## 自己紹介(30秒スピーチ!) 勉強会への参加の動機など、みなさんに語ってもらいました。

自己啓発のため

札幌を誇れるようなまちにしたい

高齡化にどのように対応するのが知りたくて

将来、子供たちがどんな札幌に住むのか知りたいなと思って

市民の意見を計画策定段階から入れてほしいと考えているから

ずーっと住むところをきもちいいところになりたい

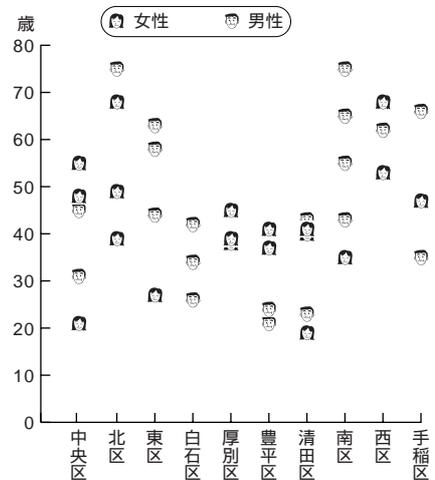
住民が納得できる都市計画をつくってもらうため

「自分たちのまちは自分たちの手で」が実現できそうだから

都市計画を市民の声でやると聞いたから

子供たちに緑を残したくて

### 幅広い参加者の顔ぶれ



### その他

- ・オープンにやってくれるのはありがたい。これを機会に自分の意見を言いたい。
- ・市民参加のプロセスを勉強したくて。
- ・「おまかせ」の民主主義ではダメで、市民が参加すべきと思ったから。
- ・縦割り行政を直すのに都市計画はカナメと思ったので。・・・などなど・・・

## ◎グループディスカッションの結果を発表しました!

「顔合わせ」をテーマとした今回の勉強会では、自己紹介のあと、各自のまちづくりに対する意見をさらに出し合うため、5グループに分かれて意見交換を行いました。また、今後3回の勉強会を進めるにあたっての質問や要望についても出しました。

活発な話し合いで出された意見は何とカード227枚分! どんな意見があったか、各グループの発表の概要を紹介します。

= 勉強会への質問・要望、計画策定過程の仕組みに関する質問  
= 札幌のまちづくりへの意見

### グループ1

都市計画とは何なのかよくわからない。これまでの都市計画の問題点としては? もっと情報公開。  
勉強会の方向不明。  
地域住民のまちづくりへの参加とその声の反映が必要。  
市民と行政の協力体制の具体的システム。行政・企業・市民 三位一体のまちづくりを! 人口増加を前提としたまちづくりをしてもよいのか? (人口規制してもよいのでは?)  
札幌の「よさ」らしさをみんなで再確認。新札幌は副都心か。しっかりとしたビジョンを。地域の役割を明確にし、それに沿ったまちづくりをすべき。個性的なまちづくりを。



### グループ2

他の部局との連携、他の行政計画との関係はどうなっている?  
この勉強会の位置づけや成果イメージがわからない。  
まちづくりのテーマは「環境にやさしくて人にもやさしくて適度に便利なまち」  
景観面で街に連続性がない。マンション・看板・ネオン等を規制しては。  
公共交通機関の充実を。車を利用しないで生活できるまちづくり  
バリアフリーの街を。お年寄りや障害のある人を郊外に追いやらないで。  
緑を街に増やして、子供たちが安全に遊べる場所を。歴史が見えるところの保護を(豊平川流域の地層とか)。



### グループ3

時間に追われてつらい。また、プログラムは事前にしっかり決めてください。  
市民参加のシステムと第三者機関をつかってほしい。  
北方圏を代表する「まち」として利雪(雪を利用すること)のまちづくりをしましょう。  
未来を担う子供たちの生活環境を大切に考えたまちづくりを。  
オリンピック、定鉄廃止、地下鉄ゴムタイヤは札幌の急ぎすぎたまちづくりの失敗!  
都心渋滞を解消したい(パーク&ライドを充実)。  
銀行、薬局などを表わす世界統一のサインがあればいいのに。



### グループ4

漠然としていて、今は思いつかない。  
他の部局との連携をしっかりとしてほしい。  
市民参加の都市マスコづくりをがんばるべき。法制度化(まちづくり条例)も必要かも。  
市も今までの計画について、自己評価してほしい。  
札幌市の将来人口はいくらを見込んでいるのか? 人口管理をしてみても。  
20年後の都市をイメージして考える必要があるのでは。まず緑(札幌らしさ)を考えるべき。  
幼児や高齢者・障害者に配慮したまちづくり。



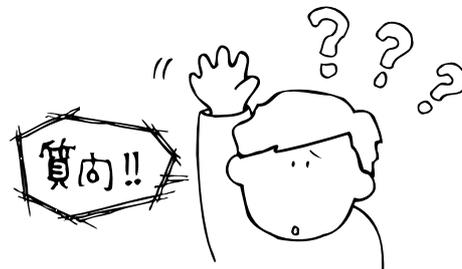
### グループ5

勉強会ではいろんな人の話を聞こう。この勉強会の意見を吸い上げた意見書や報告書をぜひ出したい。  
漠然とした話になってしまう危険性がある。今回の勉強会では特に何について話し合う会なのか。  
市民の声というのはどこまで行政に届いているのだろうか。経過がわからない都市計画。  
市民に対するアピールが少ない。情報のキャッチボールをしてほしい。都市計画策定に区の主体的関与を。市における分権が必要。  
交通政策に整合性がない。公共交通機関の料金も高い。時間帯で都心から車を追い出してはどうか。  
緑が少ない。もっと増やしては。もっと面白い公園をつくる。  
バリアフリーの全市的な普及を。



## Q & A

勉強会ではいろいろな質問が出されました。ここでは、特に多くの方が疑問に感じていた質問について、もう一度、説明したいと思います。



**Q** 都市マスは都市計画法の改正で新たにつくることになったということだけど、どうしてそうなったの？ また、何のためにつくるの？

**A** これまでの都市計画は、行政だけで案を作り、直前になって内容が公開されるなど、市民のみなさんが「何なんだ？」と感ずることも多かったと思います。また、都市計画そのものも複雑化してきており、わかりにくいものになっているということも言われています。

そのため、個々の都市計画がどのような目標をもって進められているのか、都市の将来像をしっかりと描き、市民のみなさんと共有するとともに、その実現に向けた都市計画の進め方を、総合的に、わかりやすく示すことが求められています。都市マスは、このような理由から創設されたものです。

また、昨今の地方分権の動きや地域に根ざしたきめ細かなまちづくりの必要性の高まりを背景に、市町村自らがつくる都市計画の方針として、都市マスが新たに位置づけられたものです。

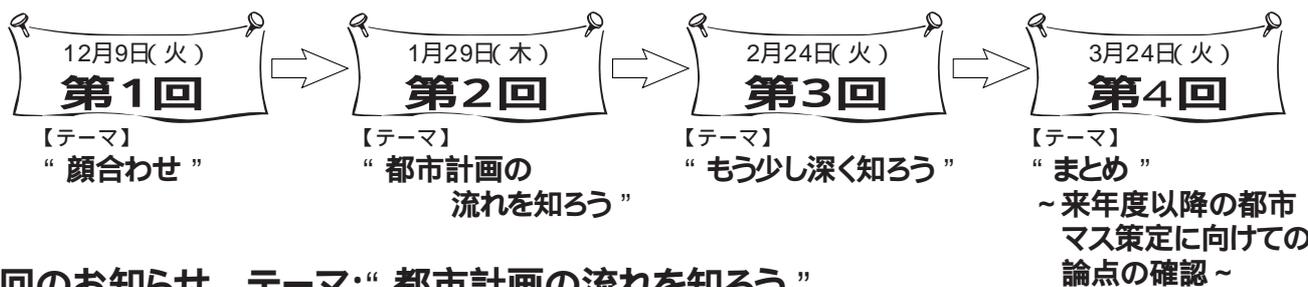


時間がなくて全ての質問・疑問にお答えできなくてすみません

**Q** 今回の勉強会の結果は都市マスにどう反映されるの？

**A** 今回の勉強会は都市マスの素案作成前に行うものであり、来年度は、この会で話し合われた結果を踏まえて素案づくりを進めていきます。この会では、都市計画に関する情報提供を行いながら、みなさんと意見交換をしていく過程で、素案づくりの際に大切にすべき論点は何かを確認したいと考えています。

## 今後の予定(勉強会の進め方)



## 次回のお知らせ テーマ：“都市計画の流れを知ろう”

### プログラム(予定)

都市計画の役割や仕組みを見てみよう。  
これまでの札幌の都市計画をふりかえろう。  
今の札幌のまちづくりの目標は？

参加された皆様、お疲れさまでした。次回もご出席の程、よろしくお願いいたします。  
札幌市都市計画課

ご意見募集:都市計画マスタープラン勉強会に対するご意見・ご要望などは、郵送がファクスで下記までお寄せください。

〒060 札幌市中央区北1条西2丁目  
札幌市企画調整局計画部都市計画課土地利用係

電話 011-211-2506 ファクス 011-218-5113